

平成 18 年度ホタテガイ採苗情報（第 1 報）

平成 18 年 4 月 28 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「大型のラーバは、全く確認されていません。」

1 ホタテガイ生殖腺指数の推移

2 月中旬から山田湾と唐丹湾で生殖腺調査を開始しました。

生殖腺指数の変化から、山田湾では、3 月下旬以降に産卵は始まったものと考えられます。一方、唐丹湾では、産卵は始まっていない模様です。

両地点とも、産卵は例年より遅れています。

◎生殖腺指数 = 生殖腺重量 / 軟体部重量 × 100

2 ラーバの出現状況

4 月 26 日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバは、6 個/トン確認されました。その全てが 200 μm 以下のラーバで、付着間近の大型の個体は全く確認されませんでした。

なお、調査時の水深 10m 層の水温は 6.9℃で、平成 9～17 年の平均値より 1℃低い値となっています。

3 試験採苗器による付着稚貝調査

宮古漁協が実施した調査では、宮古の日出島と白浜漁場では稚貝は全く確認されていません。

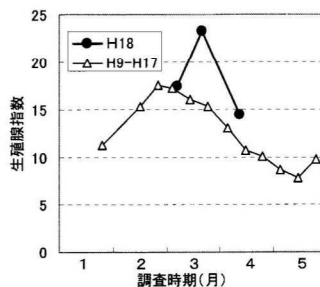


図 生殖腺指数の推移(山田湾)

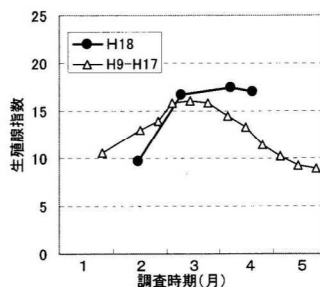


図 生殖腺指数の推移(唐丹湾)



図 調査点と付着稚貝調査結果

なお、当センターでは、4 月 26 日に唐丹湾に試験採苗器を投入しました。

今後、毎週試験採苗器を投入し、稚貝の付着状況を観察する予定です。

例年より産卵は遅れています。

さらに、付着間近の大型ラーバは全く確認されていません。また、水温も低く、付着に適した条件ではないことから、県中部以南では、まだ、採苗器の投入適期ではありません。

次報は、5 月 8 日に発行する予定です。